

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 88

2022. 5

田光のシデコブシおよび湿地植物群落。孤野町が誇る希少な春の花、国の天然記念物に指定されています。



もくじ

新しくなった健康管理センター「エポック」	2
訪問看護ステーション『いきいき』の紹介	3
病院外壁ビフォアアフター（その2）	4
「鈴鹿市訪問看護ステーション部会研修企画第2弾！」が開催されました／ CKD（慢性腎臓病）チーム活動	5
南島メディカルセンターの指定管理基本協定を更新／ いなべFMの番組開設	6
JA三重厚生連と桑名市総合医療センターの事務職員連携に関する協定締結／ JA伊勢女性部よりマスク120箱寄贈	7
治療食紹介します ～たんぱく質調整食～	8

CHECK!



JA三重厚生連の
取り組みを紹介!



新しくなった健康管理センター「エポック」

松阪中央総合病院 健康管理課長 中村 繁美

こんにちは。私たちは、健診業務を通して健康管理をサポートさせて頂く役割を担っています。

平成9年の病院移転と同時に開設された当施設は、昨年11月新棟北館5階に移設され、新たに健康管理センター「エポック」となりました。

移設にあたり、健康診断は健康な方がいらっしゃる場所なので「病院らしくない」空間づくりを心掛けました。床面積は以前と比べ約3倍と広くなり、ゆとりある空間と落ち着いた色調のインテリアなどくつろいだ雰囲気づくりをしています。検査などの待ち時間のストレスを和らげ、居心地よく過ごしていただけるよう努めております。また、案内板・表示・ポスターなどは最低限に抑えました。受診中、皆様に少しでも快適に過ごして頂きたいと考えております。

また、年々需要が高まっている胃内視鏡検査室は新棟2階に「内視鏡センター」として新たに開設され、エポックご利用の方はスムーズで快適に受検していただけます。ご希望の多い経鼻胃内視鏡検査も増備しております。

新型コロナウイルス対策では、5階全館が24時間換気となっており、その他、日々感染防止対策に取り組み安心して受診していただけるように努めております。

新しくなった「エポック」をよろしくお願いいたします。



訪問看護ステーション『いきいき』の紹介

三重北医療センター菰野厚生病院

訪問看護ステーション長 岸田 育代

訪問看護ステーションの名称『いきいき』は、「人生は捨てたものではない。粹に生きていただきたい」という思いが込められています。令和4年4月より新たにスタッフがメンバー入りし、新体制となった活気あふれる訪問看護ステーション『いきいき』（以下、『いきいき』）の紹介をさせていただきます。

現在、『いきいき』の利用者数は約110名、菰野町、四日市市を中心に

16の医療機関、44名の医師と連携しながら、8名のスタッフで看護提供や支援を担っています。利用者は年々増加し、2021年度の延べ利用者数は5000件を超えました。利用者の7割は80歳以上の高齢者で、一人暮らしや老老介護をしている方が多くを占めています。「住み慣れた町で一日でも多く、長く暮らしたい」という利用者

の声から、その願いを叶えるために近隣施設やケアマネジャー、開業医と

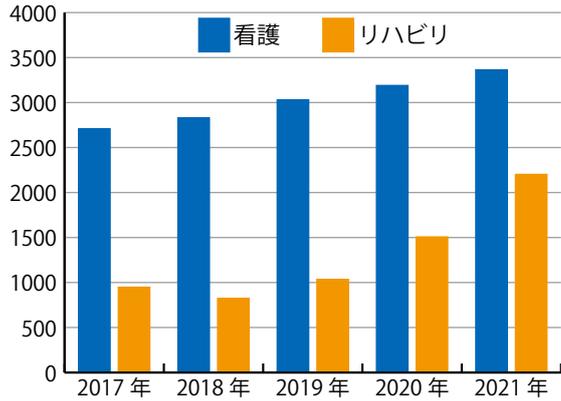
情報を共有し、その人らしく安心して在宅医療、療養生活を送っていただけるよう支援しています。また、『いきいき』の強みは、居宅支援事業所、デイケアセンター、総合リハビリテーションセンター、回復期リハビリテーション病棟を併設しているため、入院から退院、在宅まで繋がる医療、看護の提供ができることです。なかでも、訪問リハビリテーション（以下、訪問リハビリ）は大好評で、5年前と比べると約2倍に訪問回数が増えています。高齢化社会が進む中、身体機能の維持や回復に向けてのリハビリテーションが、退院後も継続して行えることへの需要が高まっており、今後増加することが予想されます。

今年度『いきいき』の取り組みは、当院に在籍している認定看護師ら、専門的知識や技術を持つスペシャリストとの同行訪問です。自宅で過ごしながら、安心して質の高い看護ケアを受けていただけるように、また、スタッフ

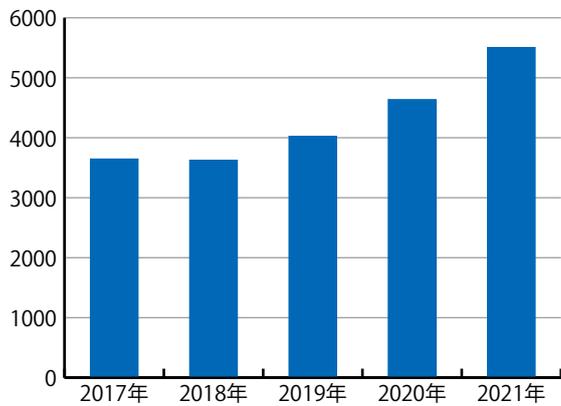
全員がいつ訪問しても同じ看護提供が

できるよう、訪問看護の質向上を目指しています。患者さんや家族の方々の声を大切に、どこに相談してもすぐ対応できるように、病院一丸となり院内連携を密にして、元気で活気あふれるスタッフと共に「いきいき、粹な看護をしていきたい」です。

看護・リハビリ訪問回数



延べ利用者数推移



病院外壁ビフォーアフター(その2)

大台厚生病院は平成27年4月に大台町、大紀町の支援を受け現在の地に新築移転を遂げてから早7年目に入りました。当院は清流・宮川が傍らを流れ、緑豊かな森林に囲まれた大変素晴らしい自然環境の中に立地しております。

しかしながら、その立地環境がゆえに雨や霧の影響で病院外壁に苔が発生し、正面玄関のある北側の壁がうっすらと黒ずんで見え、大掛かりな外壁洗浄を行ったのが令和元年9月のことでした。



▲朝霧に覆われた病院

それから約2年半あまりが経過し、ふと病院の外壁を見上げると、以前と同じように苔が生え、汚れたようにみえる状態になっておりました。

そこで、今回は外壁洗浄に防カビ塗装をプラスして実施する運びとなりました。作業は3月5日から病院の壁面を全て足場と防護カバーで覆ったところから始まり、その後洗浄、防カビ除菌剤(その名もカビニゲール)の塗布、コーティング剤2回塗布と滞りなく進み、3月下旬に完了となりました。

防カビ塗装工事が完了し、新築移転とは異なるしっかりと防カビ対策された新しい令和バージョンの塗色を身に纏った外壁と共に、大台厚生病院の職員一同、新型コロナウイルス感染症にも負けず、「全職員で心が通い合う医療を提供し、紀勢地域の皆様の健康と福祉の充実に貢献します」という病院理念のもと、さらに地域ニーズに応じた質の高い医療サービスを提供できるよう病院スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

今後とも新しい外壁カラーと共に、皆様のご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



◀ 塗装工事中



Before



After

大台厚生病院
総務課長 西川 義幸

南島メディカルセンターの指定管理基本協定を更新

南島メディカルセンター

令和4年3月18日南伊勢町南勢庁舎において、当会の庄山理事長、上村南伊勢町長出席のもと、南島メディカルセンター指定管理基本協定調印式が執り行われました。

南島メディカルセンターは、昭和32年7月に南島病院として開設し、地域に根差した医療・介護を行ってきました。施設の老朽化に伴う新築移

転を機に、平成24年3月、南伊勢町の公設民営施設として現在地に移転し、以来10年間にわたり、当会が指定管理者を務めてきました。

南伊勢町は、急速な人口減少に加え、高齢化率が50%を超えるなど県内で最も少子高齢化が進む地域です。また、医師をはじめとする医療従事者の不足が慢性的な問題となっています。こうした課題に取り組むため、当会と南伊勢町は、それぞれが運営する、南島メディカルセンター、町立南伊勢病院を加えた

四者による協議を重ねてきました。

このたび、令和3年度末を以て、協定期間が満了を迎えることから、あらためて南島メディカルセンターの指定管理を5年間更新することになりました。当会と南伊勢町の取り組みが、過疎地域の医療・介護のモデルケースとなるよう努めて参ります。



いなべF.Mの番組開設

三重北医療センターいなべ総合病院 事務次長 近藤 克博

令和3年4月より、地域に密着したラジオ局「いなべF.M」と提携し「いなべ総合病院の家庭の医学」と称し、医療情報番組をスタートし早1年が経過いたしました。

この番組を通じ、疾病予防や治療方法や、三重北医療センターいなべ総合病院がいま取り組んでいる事などを地域の皆様にお伝えしています。

パーソナリティは、弓矢ナオミさんで毎月第2水曜日9時10分からとなっております。残念ながら放送区域は、



いなべエフエムの放送区域図

三重県いなべ市、員弁郡東員町、三重郡菟野町の各一部ですので、放送区域にお越しの際は、是非お聴きください。

【いなべF.M 86・1MHz】

いなべ総合病院の家庭の医学

新コーナーが始まります!

いなべ地区の中核病院として、健康に係る三重北医療センターいなべ総合病院。

地域での疾病予防や治療方法など、市民の皆様にも周知するとともに、いなべ総合病院が力を入れている事や新しい取り組みを紹介するコーナーです。

放送日：毎月第2水曜日 9時10分頃～



JA三重厚生連と桑名市総合医療センターの
事務職員連携に関する協定締結
三重県厚生連

令和4年3月1日、「地方独立行政法人桑名市総合医療センターと三重県厚生農業協同組合連合会における事務職員の連携に関する協定書」の締結式を行いました。この協定は、医療と、医療を取り巻く環境が刻々と変化する厳しい時代においても柔軟に対応できるよう、病院事務職員の資質向上に努め、①地

域医療をけん引できる人材、②経営戦略を組立て遂行できる人材、③病院経営を担う人材を、JA三重厚生連と同センターが連携し育成することを目的としています。連携内容には、双方の事務職員研修会に参加できること、派遣研修が行えることなどが盛り込まれています。

JA三重厚生連の庄山隆裕理事長は「経営形態が異なる二つの組織間に



JA三重厚生連の庄山隆裕理事長（左）と桑名市総合医療センターの竹田寛理事長（右）

JA伊勢女性部よりマスク120箱寄贈
三重県厚生連

令和4年3月17日、JA伊勢女性部（野口佳子部長）は、JA三重厚生連本部（庄山隆裕・代表理事理事長）を訪問し、マスク120箱を寄贈しました。マスクはJA伊勢女性部が企画した不用品バザーの収益金を活用したもので、長引く新型コロナウイルス感染症における医療従事者の感染リスクを軽減することを目的としています。

当日は、津市のJA三重ビルで寄贈式が行われ、JA伊勢女性部の野口会長がJA三重厚生連の庄山理事長にマスクを手渡しました。

JA伊勢女性部の野口部長は、「コロナ禍が続く中、依然として医療従事者は大変な苦勞をされており、何かできることはないか、少しでも励ますことができたらとの思いで寄贈を決めました」と話されました。

JA三重厚生連の庄山理事長は、「長引くコロナ禍において医療スタッフの負担は増大しています。皆様からの応援や労いの言葉は何よりも大きな心の支えとなります。今後、後も役員一丸となり、安心安全な医療の提供、地域医療への貢献、新型コロナウイルス感染者への対応に尽力していきたい」と謝辞を述べました。

寄贈されたマスクは、JA三重厚生連の6病院、1施設へ配布されました。

JA三重厚生連の庄山理事長は、「長引くコロナ禍において



寄贈時の様子 野口部長④よりマスクを受け取る庄山理事長⑤

治療食紹介します

三重北医療センターいなべ総合病院 栄養管理科長 瀬古ちさと

たんぱく質調整食

たんぱく質調整食は様々な理由により腎臓の機能が著しく低下した患者さんに対して病気の進行を抑制することを目的にお出しする食事です。

- ① たんぱく質を少しでも減らすために
- ② たんぱく質(肉・魚・他)を減らす
- ③ 塩分を減らす
- ④ 必要エネルギーを確保する
- ⑤ このレシピではフルーツ缶(糖質)とホイップ(糖質と脂質)及びマヨネーズ(脂質)で必要エネルギーを確保しています。

何処でも手に入る材料で調理も簡単です。

きつねうどん

【材料】(1人分)

- 冷凍うどん...110g
- 油揚げ...1/2枚
- 砂糖...0.5g
- 醤油...0.5g
- かまぼこ...8g (薄切り2枚)
- ねぎ...5g
- 鰹節...0.5g
- みりん...2g
- 醤油...5g

作り方

- ① 油揚げは砂糖と醤油で薄く味つけする。
- ② かまぼこは薄切り、ねぎは小口切りにする。

里芋の煮物

【材料】(1人分)

- 里芋...30g
- 人参...15g
- 和風だし...0.1g
- 砂糖...1.5g
- 醤油...3g

作り方

- ① 里芋は皮をむいてひと口大に切る。
- ② 人参は花形で抜いて里芋と茹でる。
- ③ だしと砂糖と醤油で味付けする。

ブロッコリーサラダ

【材料】(1人分)

- ブロッコリー...40g
- 人参...5g
- マヨネーズ...10g

作り方

- ① ブロッコリーを食べやすい大きさにほぐして茹でる。
- ② 人参は千切りにして茹でる。
- ③ 小鉢に盛り付けてマヨネーズを絞る。

フルーツ

【材料】(1人分)

- 黄桃缶詰...50g
- ホイップクリーム...15g

作り方

- ① 黄桃缶詰を食べやすく切る。
- ② ホイップクリームを添える。

【材料】(1人分)

- ごはん...100g

小さい器に盛り付ける。

栄養量 (1食1人分)

- エネルギー量...550キロカロリー
- たんぱく質...12g
- 塩分...2.0g

☆主食を低たんぱく米にすると肉や魚を増やすことが出来ます！



JA三重厚生連

人に 地域に やさしい看護

薬剤師 看護師 介護福祉士 看護補助員 募集



厚生連だより Vol.88

発行/三重県津市栄町1丁目960番地 2022.5発行

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354
http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp